



CSSテクニック

Blog デザインをスマートフォンにかっぽさそう!

第5回 リストをデザインしてサイドバーを改造

サイドバーにリンク集、最新コメント、トラックバック一覧などを入れていくと、情報が増えれば増えるほどサイドバーがどんどん長くなっていきます。サイドバーを短くする方法の1つに、3カラムのレイアウトにしてサイドバーの情報を分割するというものがあります。しかし、単に分割するだけでなくサイドバーにある情報の見せ方も工夫するとより見やすくなります。サイドバーに載せる情報の多くはやというリスト(箇条書き)タグを使っています。リストタグは情報を整理するうえで重要なタグで、上手に利用すればSEOやアクセシビリティ対策にもなります。今回はCSSを使ってリストをいろいろ装飾してみましょう。

by スタイルシート・スタイルブック

<http://www.stylesheet-stylebook.com/>

主宰者の執筆したCSSの書籍『スタイルシート・スタイルブック』(翔泳社刊)の発売と同時にオープンした、CSSをみんなで楽しく学べるコミュニティーサイト。通常のサイトとは別に『情報交換広場』というページも増設されました。Wikiで作られていて誰でも気軽に情報を書き足すことができます。あなたのCSS情報もぜひ書き込んでみてください。



今月のイケてるCSSデザインサイト

カッコいいデザインをたくさん見てセンスや技を学ぶのが、デザインカアップの第一歩!

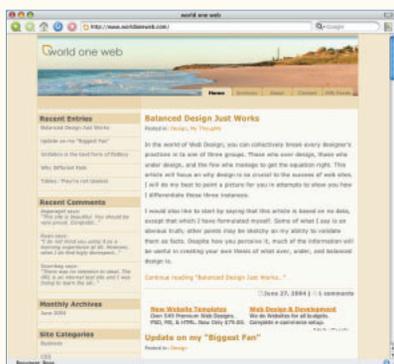
1

マウスオーバーで情報を伝える

world one web

<http://www.worldoneweb.com/>

オハイオ州在住のウェブデザイナーであるRyan Latham氏のブログサイト。見やすい色使いやタイポグラフィもステキですが、特筆すべきところは左側のナビゲーションリスト。マウスオーバーすると日付、コメント数、エントリー数などの情報が見えるように工夫してあります。最初にユーザーに見せる情報を制限してスッキリさせるには良いテクニックだと思えます。



ぱっと見はシンプルですが、サイドバーの項目にマウスカーソルを合わせると追加情報が表示されます。

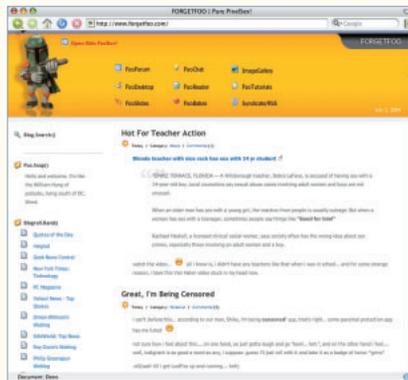
2

アイコンを効果的に

FORGETFOO

<http://www.forgetfoo.com/>

ブログサイトはテキスト中心のサイトになりがちですが、このサイトでは、アイコンを多数使うことにより、左側のナビゲーションリストと文章をより効果的に見せています。美しいアイコンを付けるだけでもサイト全体のイメージが変わる好例ですね。また、このサイトの作者が制作した『FooBar』はなかなか便利なウェブアプリケーションです。



アイコンがサイドバー項目のアクセントになっています。引用部分などもグラフィックの使い方が凝っていますね。

イケイケデザイン&テクニック募集中

あなたのイケてるブログサイトやCSSテクニックを募集しています。「いいデザインができたかも」と思ったら、ガンガン応募してください。イケてるデザインやテクニックは、このコーナーで紹介し、みんなで参考にし合っておもしろいサイト作りましょう! 応募先: im-ikeike-css@impress.co.jp (スタイルシート・スタイルブックのサイトでも募集しているよ)

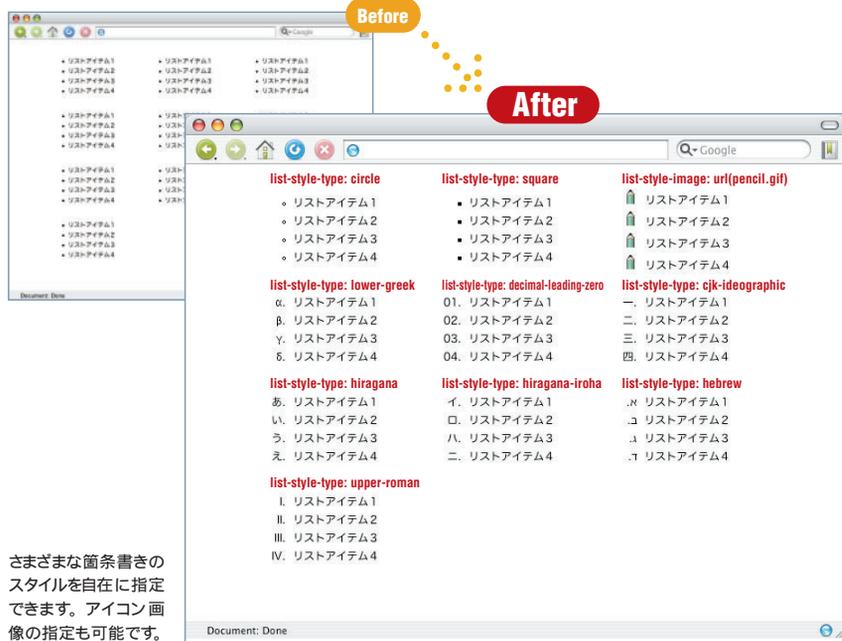


リストの基本形をマスターする

1

箇条書きのマーカ―を list-style-type や list-style-image で制御

by 長谷川恭久



さまざまな箇条書きのスタイルを自在に指定できます。アイコン画像の指定も可能です。

を使ったリストは、多くの場合、文字列の左隣に黒丸のマーカ―が付いた箇条書きになり、入れ子にするとさらに変わります(連番の箇条書きで使うでは「1.」「2.」のような数字になります)。リストではこのマーカ―を変えるのがいいアクセントになります。CSSを使わない従来の方法では<ul type="square">のようにtype属性を使って黒丸とは別のマーカ―を指定していました。CSSでは、このtype属性と同じ役目を果たすのは「list-style-type」プロパティです。CSSで一括管理が可能ということ考えると、毎回type属性を使うよりもlist-style-typeを使うほうが効率がいいでしょう。また、CSSでしか出せないマーカ―もあるので要チェックです。

CSS

```
#list1 { list-style-type: circle; }
#list2 { list-style-type: square; }
#list3 { list-style-image: url(pencil.gif); }
#list4 { list-style-type: lower-greek; }
#list5 { list-style-type: decimal-leading-zero; }
#list6 { list-style-type: cjk-ideographic; }
#list7 { list-style-type: hiragana; }
#list8 { list-style-type: hiragana-iroha; }
#list9 { list-style-type: hebrew; }
#list10 { list-style-type: upper-roman; }
```

CSS テクニクのキモ

最初の3つは(連番付けをしない箇条書き)で使うものです。エンピツのアイコンのものは、マーカ―に画像を指定するlist-style-imageプロパティを使っています(後述)。標準の黒丸はlist-style-type:discで指定できます。

これら以外のものは(連番付き箇条書き)で使うもので、数字やギリシャ文字だけでなく、「イロハニ」のように日本語のマーカ―も使えます。ただし、今回のようにすべてが『正しく』表示されるのはMozillaやFirefoxなどのMozilla系のブラウザのみだという点に注意

してください。たとえばウィンドウズ版IE 6だと、日本語、ヘブライ語、ギリシャ文字を使ったリストは表示されませんし、Safariでも日本語リストが表示されません。正しく表示できない場合は、標準の黒丸や数字が代わりに表示されるなど、ブラウザによって解釈の仕方が違います。とは言え、これらの指定はCSS2で規定されているものなので、将来的にはどのブラウザでも表示できるようになると期待してもいいかもしれません。

CSSであらかじめ用意されているマーカ―を

使うのではなく、自分で作った画像ファイルをマーカ―にしたい場合には、「list-style-image」プロパティを使います。ただし、ここで注意しておきたいのが、画像が表示される位置がブラウザによって若干異なる場合があります。ウィンドウズ版IE 6とMozillaでは文字とリスト画像の間隔が若干異なります。微妙な違いも気になる場合は「list-style-type:none」にしてマーカ―を非表示にして、リスト画像を背景画像として処理するなど別の方法で同じ効果を作り出すといいでしょう。



リンクリストをコンパクトでオシャレにする

2

float:leftによるリスト項目の詰め込み

by 長谷川恭久



長さが短い項目は1行に複数表示されて、リスト全体がコンパクトになります。



ブログを運営している人の多くは、自分が巡回しているサイトを紹介するなどのためにBlogPeopleやMyBlogListのようなサービスを使ってサイドバーに一覧表示しているでしょう。巡回しているサイトが多くなれば当然リストも長くなってしまおうのが問題です。また、リンクが延々と記述されているだけだと読み難いという問題もあります。そこで、今回はサイト名が短いものは1行に複数の項目を表示するようにして、リストの長さを少しでも短くしてみましょう。また、個々のリンクが少しでも際立つように、CSSを使ってアイキャッチとなるアイコン画像を貼り付けてみましょう。

HTML

```
<div id="bloglist">
  <ul>
    <li><a href="http://.....">DO THE
    ROCK.COM</a></li>
    .....
  </ul>
</div>
```

CSS

```
#bloglist{
  width: 24em;
}
#bloglist ul{
  list-style: none;
  margin: 0;
}
```

```
#bloglist li{
  float: left;
  margin-right: 10px;
}
#bloglist li a{
  background: transparent
  url(up.gif) no-repeat 0 0;
  color: #336666;
  padding: 3px 0px 3px 22px;
  white-space: nowrap;
}
#bloglist li a:hover{
  background: transparent
  url(up_hover.gif) no-repeat 0 0;
  color: #663333;
}
```

CSS テクニクのキモ

前ページのテクニックではlist-style-imageプロパティを使って自作のリストマーカーを配置しましたが、このテクニックではbackgroundプロパティで、つまり背景としてアイコンを配置しています。これは、リンクにマウスカーソルを重ねたときに別のアイコンを表示させるためです。こういった場合であってもlist-style-imageプロパティを使った方法だと難しくなるのです。アイコンを背景として配置しているので、paddingプロパティを指定して左側に最低でもアイコンの横幅分

の間隔を空けておくようにしましょう。ここでは、リストの項目である要素の子要素になる<a>にpaddingを指定しています。

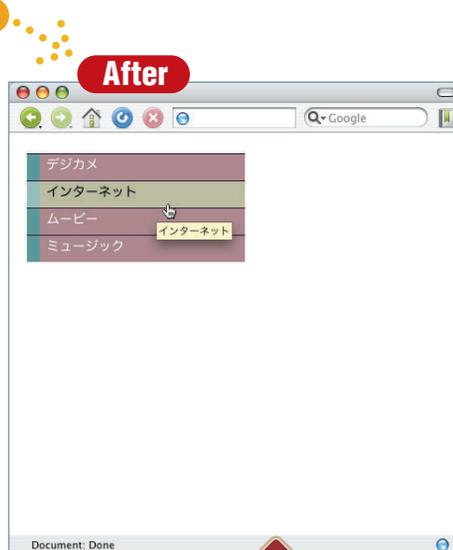
今回のポイントは、通常の1行1項目の表示ではなく、1行に入る限り項目をどんどん詰め込むことです。これには「float: left」を使います。サイト名が短いものをこのように右に詰め込んでいくことでリストの長さは短くできるのですが、サイト名の間隔がある程度空いていないとかえって読み難くなってしまいます。そこでに対して「margin-right」などを使っ

て、個々のサイト名の間に間隔を空けておきます。また、サイト名が途中で折り返されるのを防ぐために「white-space: nowrap」を忘れずに記述しておきましょう。

また、今回のテクニックで忘れてはならないことが2点あります。1つはブラウザによっては標準でリストの上下左に間隔を空けるようになっているので、「margin」をゼロにしておくこと。もう1つはアイコンを背景画像として処理するので「list-style: none」としてリストのマーカーを非表示にしておくことです。



ばつと見は表組みのように見えますが、これでもれっきとしたリストです。



画像を使うことによってリストに個性を出すことができますが、見た目がおもしろいリストを作るのに画像が必須だというわけではありません。今回は、画像を一切使わずにCSSのプロパティだけを使ってリストを装飾してみましょう。もちろんマウスオーバーの効果も加えてよりインタラクティブにもしてみます。CSSだけで作り出すため、色や枠線を変えるのも簡単なので、カスタマイズが柔軟にできます。ぜひ自分オリジナルのリストに挑戦してみてください。

HTML

```
<div id="navigation">
  <ul>
    <li><a href="....."
      title="デジカメ">デジカメ</a></li>
    .....
  </ul>
</div>
```

CSS

```
#navigation ul{
  list-style: none;
  margin: 0;
  padding: 0;
}
```

```
#navigation li a{
  background: #B18B8B;
  border-left: 1em solid #669999;
  border-top: 1px solid #330033;
  color: #ffffff;
  display: block;
  padding: 0.25em 0.25em 0.25em 0.5em;
  text-decoration: none;
  width: 15em;
}
```

```
#navigation li a:hover{
  background: #C2C2A3;
  border-left-color: #A3C2C2;
  color: #000;
}
```

CSS テクニクのキモ

まず、一見してリストに見えないように、に「margin: 0」と「list-style:none」を指定しておきましょう。これでリスト風のマーカーや空気が表示されなくなります。また、リンクの下線を無効にする「text-decoration: none」も忘れずに記述しましょう。

文字の左隣にアイコンのように見える緑色の四角形が配置されていますが、これはリスト項目のリンク(<a>)の左側の枠線を1文字分の太さ(1em)で表示してあるだけです。枠線の太さを変えるだけで、通常の枠線とは異なる

表現ができる一例です。枠線を設定するCSSは、四方を同時に設定する「border」だけでなく、上下左右それぞれを設定できる「border-top」「border-bottom」「border-left」「border-right」というプロパティがあるので、今回のテクニックでは左側と下側の枠線のスタイルをそれぞれ設定しています。

マウスカーソルを持っていくと枠線の色と背景色が変わる効果は「:hover」を使って実現しています。ただし、テキストにマウスオーバーしたときだけでなく、リストボックス内ならどこ

にマウスオーバーしても効果が現れるようにしてみましょう。こういった場合、リスト項目のリンク(<a>)に対して、「display:block」というスタイルを設定します。リンク内には横幅も設定してあるので、その横幅の範囲内であればたとえ文字をクリックしなくてもリンクとして扱われるようになります。こうすることによって「:hover」のほうもリストボックス内であればどこでも効果が出るようになります。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp